

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2016(v2.1))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	奥本製粉株式会社 新倉庫棟新築	階数	地上3F
建設地	大阪府貝塚市港8,15,16-3の一部	構造	S造
用途地域	工業専用区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年12月 予定	評価の実施日	2017年3月22日
敷地面積	8,163 m ²	作成者	清水建設株式会社 福永唯行
建築面積	2,603 m ²	確認日	2017年3月27日
延床面積	4,083 m ²	確認者	清水建設株式会社 福永唯行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 79%
③上記+②以外の 79%
④上記+ 79%

92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 企業活動から生じる環境への影響を認識し、地球環境の保全や資源循環型の持続可能な社会形成への寄与に努める。		その他 -
Q1 室内環境 室内の音環境、光・視環境、空気質環境に配慮した計画とする。	Q2 サービス性能 主要な設備配管に更新間隔の長いものを採用し建物機能の耐用性を向上させる。また十分な階高を確保し、将来の模様替えなどの可能性に対応した計画とする。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺の街並みに配慮した計画とする。また可能な限り植栽を計画する。
LR1 エネルギー 外部からの熱的影響を抑えた計画とする。設備システムにおいてもLED照明器具の採用など省エネルギー設計に努める。また空調全熱交換機においてナイトパージ機能の搭載された機器を選定するなど自然エネルギーの利用にも努める。	LR2 資源・マテリアル 節水器具採用による水資源保護に努める。またOAフロアなどのユニット部材を使用する事で、再利用の可能性を向上させる。	LR3 敷地外環境 省エネルギー設計とする事で二酸化炭素排出量を抑制し地球温暖化抑制に努める。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H28-0172

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	奥本製粉株式会社 新倉庫棟新築計画					
		建設地	大阪府貝塚市港8、15、16-3					
		用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					4		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	3.0	4	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.4		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				4.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.5		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								